

妊産婦のメンタルヘルスについての調査結果

1-① 妊産婦のメンタルヘルスを意識して取り組んでいる保健活動の有無

	取組みあり	取組みなし
市町数	12市町	0市町

1-② 「ある」と回答された市町の取組み内容

- ・妊娠届時に保健師が面接。面接場面を利用して下記取組みを実施。
 - ・冊子を用いてこころの変化について説明。
 - ・妊産婦こころの健康センターの案内
 - ・アンケートを用いて受診歴の確認や面接時点での精神状況を確認し、必要時支援につなぐ。
- ・こころの元気アップ講座（両親学級）
- ・保健師による訪問、電話相談
- ・こんにちは赤ちゃん訪問事業
- ・養育支援訪問事業
- ・産婦健康診査事業
- ・産後ケア事業
- ・産後交流会
- ・4～5か月児健診
- ・医療機関との連携

2 設問1で「ある」と回答された市町が妊産婦のメンタルヘルスを評価するために、 使用しているツールについて

- ・エジンバラ産後うつ病質問票
- ・育児支援質問票
- ・赤ちゃんの気持ち質問票
- ・5か月児健診での子育てアンケート
- ・妊娠がわかった時の気持ちをスケールで記載

3 妊産婦とのかかわりでメンタルヘルスについて支援が必要と判断した場合、その後の支援内容 について

- ・電話相談、面接、訪問
- ・産後うつのパンフレットを用いて対応方法の説明
- ・家族調整
- ・特定妊婦として支援（要保護児童対策地域協議会担当課との連携）
- ・医療機関（精神科、心療内科）の受診勧奨
- ・産科医療機関との連携
- ・産後ケアの利用勧奨
- ・相談窓口の紹介や子育て支援サービスにつなげる
- ・保健所の心の相談等の情報提供

4 設問1で「ある」と回答された市町の取組みを実施しての効果について（複数回答）

	市町数
①妊産婦の不安軽減につながった	10 市町
②支援機関につなぐきっかけとなった	10 市町
③妊産婦との関係性が良好になった	7 市町
④虐待予防につながった	10 市町
⑤その他	1 市町

その他：メンタルヘルスの支援として特化して効果検証したことがないため、不明

5 妊産婦のメンタルヘルスについて相談できる精神科医療機関の有無および、相談できる医療機関数（重複回答あり）

	市町数	市町内にある市町数 ／医療機関数	市町外にある市町数 ／医療機関数
医療機関あり	6 市町	4 市町／6 機関	3 市町／4 機関
医療機関なし	6 市町		

6 妊産婦のメンタルヘルスを支援する上で、精神医療連携等における困りごと

- ・精神科医療機関の特徴や診療に必要な手順（予約方法や情報提供の方法）がわからない。
- ・受診につながる前に事前にケース相談をしたい。
- ・受診予約が先になり、タイムリーな受診につながりにくい。
- ・妊娠したら転院を勧められ、受診継続できないことがある（受診の中断。）
- ・精神合併の妊婦が受診できる産科が少なく、遠方になってしまう。産科と精神科の連携ができれば、入院可能な産科が増えるのではないかと期待する。
- ・授乳や育児の関係で、内服が続かない、受診が中断してしまう。治療継続の必要性について相談できる精神科医師がいるとよい。
- ・産後うつリスクがある場合、相談や受診ができる医療機関があるとよい。
- ・夜間の連携が難しい。
- ・精神科医療機関との連携の実績がほとんどなく、妊産婦への連携の了解が得にくい。
- ・保健機関が主治医との連携をどの程度取るべきか理解できていない。
- ・精神科と産科の医療機関がどの程度連携しているか知りたい。
- ・妊産婦を精神科受診につなげた後の情報共有が難しい医療機関があり困っている。

	記載あり	記載なし
相談医療機関あり	1 市町	5 市町
相談医療機関なし	5 市町	1 市町
計	6 市町	6 市町